

# STEP UP

劇団仲間情報誌 No. 22 ー夏休み公演ー

発行元 劇団仲間  
2007年5月25日発行  
164-0011 東京都中野区中央2-54-10  
Tel 03-3368-4623 Fax 03-3368-6181  
http://www.gekidan-nakama.com  
E-mail: info@gekidan-nakama.com  
編集責任者 三橋 怜子

THEATER



GENOSSE

## 飛ぶ教室



原作/エーリヒ・ケストナー 訳/池田香代子 (岩波書店刊)  
脚本/いずみ凜 演出/鈴木龍男

まっすぐに!!

ー友情・信頼ー

「隣のやつらが、仲間を人質に取った!」この知らせが飛び込んできたのは、クリスマス集会で上演する劇『飛ぶ教室』の稽古中だった。

ジョニー、マルティン、マツツ、ウリー、ゼバスチャンの五人は、すぐさま友人の救出に向かった。この事件を知ったベク先生は生徒達を呼び出し事の真相を聞いたのだ。

子どもたちの真っ直ぐな思いに、ベク先生はこう応えた。  
「なぜだ...!」

## ふたりのイーダ



原作/松谷みよ子 (講談社刊) 脚本/宋 英徳 演出/鈴木龍男

笑いと感動!

夏休み、遊び盛りの小学生直樹と、まだ幼い妹のゆう子は、おじいちゃん、おばあちゃん、お母のふるさと、広島島の『花浦』という町を訪れる。次の日、直樹は町の探検に出かける。そして小さな森の中に壊れそうな西洋館を見つけた。そしてこれが、直樹の不思議で貴重な体験の始まりだった。

家族が消えた!?

「あたし水泳の代表選手に選ばれたの」「ねえ、あたし学校で...」、けれど家族は話を聞いてくれません。しかたなく、ルーシーは想像上の友達《ゼアラ》に話しかけます。  
《ゼアラ》の姿はルーシーにしか見えません。  
話す言葉もルーシーにしか聞こえません。  
だから当然家族の会話や行動はおかしくなるのです。そして!

作/アラン・エイクボーン 訳/出戸一幸  
台本・演出/亀井光子

### 芝居って面白い!!!

公演日程は裏表紙をご覧ください

# 飛ぶ教室

夏の公演に向けて



ゼバスチャン  
飛田晃治

僕がお芝居を観て感動するのは、何か飛び抜けた瞬間を感じた時だ。舞台上に限らず、映画や絵画、日常風景からも感じる。そんな時僕の背中には、人知れず鳥肌が立つ。そわそわと。その経験を身体はずっと憶えていて、のちの生活の中で、いいにおいがして僕を良い方に導いてくれたりする。だから、人からそのそわそわを貰った時は、「畜生、やりやがったな！」と嬉しくて仕方がなくなる。

同じ舞台上に立っていても、それは起きる。何気ない対話の中で、いきなりそわそわと貰ったりする。この『飛ぶ教室』の中でも結構あったのだけれど、照れくさいのでことは言わない。そこで、ふと気になるのは、僕が貰ったように、僕も与えているかということ。狙って出来るかというのと、これは難しい。とにかくひたむきにやるしかない。そのうち、いいにおいがしてくるかも知れないから。そわそわと。



マツ  
鈴木志門

お前も俺も、お芝居は楽しく演るものだ！  
って、教わったよなあ。うん。楽しかったなあ二か月間。最高だったぜ！でも、ちょっと浅かったみたいだな。頭悪いからな俺達(笑)  
根本的に俺等、浮いちゃってるんだ。「最近髪の毛が薄くなってカツラみたいに浮いて…」

いやいや、そっちじゃない。泣く演技が嘘っぽいい！だって。あたたたくこれはリアルだぞ。いい感じでヘコむなあ(泣)  
…えっ？ …そんなお前が可愛いって!?  
…あらま、どうするマツツ?  
「しもん。楽しくやるぞお〜」  
おう。頑張りマツツ!!



ジョニー  
山神 友恵

劇団にとって久しぶりの新作。入団三年目の私にとっては初めてづくしとなる新作立ち上げでした。

寄宿舎で暮らす少年の役。私は寄宿舎で暮らした事も、『少年』時代を過ごした事ももちろん無く、男の子ってどんな感じなんだろうって考えてました。

でも私の小さい頃を振り返った時、外が真っ暗になっても汗だくで走り回って遊んでいたし、下らない事にすごく必死になったり…。男女の違いはあるけど、この『飛ぶ教室』に出てくる子ども達と同じ事してたなと思って思ったんです。それはきっと誰もが経験してる事で、『飛ぶ教室』を御覧になられた方はきっと自分自身の子ども時代をリンクさせながら観て頂けると思えます。

出てくる子ども達はみんな様々なバックボーンを抱えていて、性格もバラバラです。でも、いざって時のチームワークが凄いいんです。バラバラの五人が一緒にいるからこそ一人一人が輝いて見える。そんな素敵な子ども達を指していききたいと思えます。

因に、みなさん雪合戦はした事ありますか？雪の中で動き回ると寒いのに自然と汗をかくんですよ。舞台上の子ども達もきっと一緒です。額にはいつの間にかキラキラ光るものが…。子ども達を暖かい目で見守ってやって下さい☆



劇団仲間を応援します！

## ワダケンサービス -ハウスクリーニング-

185-0013 国分寺西恋ヶ窪3-14-21 TEL 042-359-0381 携帯 090-9313-3990

一般家庭のクリーニング  
浴室・キッチン・絨毯・クーラー・等  
事務所・店舗・新築・中古  
綺麗にします。安心・安価・丁寧  
是非お気軽にご相談ください。



## KEIKOBA

創造の場

楽しくもあり、苦しくもあり



演出助手の仕事は今回で三回目だ。しかもドイツが舞台。訪独した経験を活かせる、しかも演出の勉強が出来るとあって飛びついた。資料集めはなかなか楽しい！舞台となる場所を絞り出し、生活、習慣、子ども達の行事、なんと言ってもクリスマスは重要であった。ケストナーの作品や研究雑誌を読みあさり、かなりドイツが解ってきた風だった。

演出家は私に聞く。「ドイツ人はリングが好きか?」「地理の授業は?」「禁煙車のマークは?」「鐘の音は?」「あのドイツ語の発音あつてるのか?」...わからない



演出助手  
松野方子

「演出助手だったのか...」

◆平成十九年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として、ドイツ・ニュルンベルグに八十日間の留学が決定

松野方子

いつて!  
もしかして、演出家は私をドイツ人だと思っているのでは?と錯覚する。どちらかと言えば南方系なのだが...。仕事なので、私「ドイツ人ではありませんから」とも言えず最近習い始めたドイツ語を活かし、探し回る。子ども達も聞く。「僕の名前はドイツ語でどう書くの?」「アルファベットの読み方は?」「ドイツ語で弱虫は?」...あれ? みんな私をドイツ人だと思っている。間違いない。仕方ないので、『飛ぶ教室』のあいだはドイツ人дейようとした。でも、みんなは私を「まちゃさん」という。なんだ、やっぱり日本人だった。

こうして私は演出助手の仕事をごなせたのか判らないまま舞台の幕は開いていった!

◆『飛ぶ教室』『見えない友達』『ふたりのイーダ』

◆『各作品五組一〇名様を』招待!

観劇を御希望の方はハガキに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・職業(子ども劇場・おやこ劇場その他鑑賞団体に入室している方は団体名をお書きください)を明記の上、観劇希望作品と希望日を書いてお送りください。当選された方には、七月五日迄にご招待状を郵送いたします。

※〆切六月二十四日消印有効

〒一六四一〇〇一一 東京都中野区中央二・五四・十

◆ 劇団仲間「Step Up」プレゼント係

◆アンケート

◆小二になった息子と観ました。友達のこと、人が生きていくということ、まだまだ言葉にする力は弱いようですが、何か大切なものは感じた様子です。

◆セリフの一言一言が、子どもに聞かせたい言葉でした。

◆クロイツカム先生を女性に変えているのも面白い感じになって良かったです。

◆誠実な生徒達、先生、現実とは少し違いかもしれませんが理想です。

◆いろいろな場面で涙してしまいました。

劇団仲間を応援します!



堀越学園前店

全時間帯 大募集!!  
未経験者 大歓迎!!  
土・日・祝時間給アップ!!

お問い合わせは店長まで TEL.03-5332-3555





ルーシー  
安田由美子

「お前が悪い!」

あれは初演の『見えない』のとある中学校公演の時でした。中学生は小学生や一般公演と違い、微妙な反応の時がままありますが、その公演は良く観てくれていたと思います。お芝居もいよいよ佳境に入っているシーン。一人の男子生徒がルーシーに対し「お前が悪い!」と発したのです。一瞬何が起きたのか予期せぬ事にドッキーン! としたのを覚えています。悪ふざけとは思えない胸に刺さるひと声。何故彼はそう発したのか、今となつては知る術もありませんが、静まり返ったシーンでのあの大きなひと声は今でも耳に残っています。

もう一つ。それは小学校四年生の女の子。ルーシーのダメ料理っぷりに:

《正しいケーキの作り方》のお手紙を送ってきてくれました。公演から二・三週間後の事です。絵入りの手紙はとても丁寧に書かれていて、今でも大事に持っています。

これからどんなビョウなハートに出会えるのか、怖くもあり、楽しみでもあります。

## 忘れられない『あの瞬間』



ゲーリィ  
田中 誠

新作のお芝居を稽古するにあたって、僕らはその作品を、また、それぞれのシーンをお客様にどういう風に受け止めてもらいたいかなんてことを考えながらやったりするわけなんですけど、往々にして実際の本番では僕らの予想しえなかった反応が返ってきたりします。また、それが生の演劇の面白いところでもあるわけですが…。

『見えない友達』の朝の食事での父ウォルトとゲーリィのやり取り、おおむね好評を頂いているのですが、このシーンは稽古の段階では父の台詞でオチが着くと予測していました。ところが実際はその次の僕の台詞で笑いが起きることも多々あり、お客様のツボというのはいろいろとあるものだなあ、などと思っていました。ですがある日、僕はある真実に気付いてしまったのです! それは僕らの偉大なる先輩、故菊地勇一さんのことです。彼はその日の会場の空気を読み、自分の台詞がウケそうな時は自分を立たせ、僕がウケそうな時は僕が立つ様に微妙に演技を変えていたのです! そのことに気がついた時は背中がゾクゾクしました。ある意味、彼の導く通り観客は笑いのタイミングを操作されているんですから!

今の僕らがそんな感性を持つてるとはとても言えませんが、ほんの少しでも彼に近付ける様、頑張っていきたいと思います!



劇団仲間を応援します!

春日電気管財事務所 春日克之

〒175-0092 東京都板橋区赤塚1丁目11番17号  
TEL.03-3930-6469 FAX.03-3938-6240



直樹 片桐雅子

「むかしむかしのことじゃない。ほんの少し前の話さ…」一九四五年八月六日午前八時十五分、戦時中とはいえ穏やかに普通に日常を送っていた広島の人達の上に突然原爆は落ちてきた。一瞬にして全てが失われた。亡くなった方々、そして今も尚後遺症に苦しむ方々の無念に想いを馳せると、夏のこの東京公演はいつにも増して身が引き締まり平和を切に願わずにはいられない。

『ふたりのイーダ』の舞台は昭和四十三年。

「イーダを観に行くんだ」と厳肅な気持ちで劇場を訪れる方々は最初、いささか呆れる程騒がしい普通の家族の存在に拍子抜けするようである。しかし美しい謎の蝶に直樹とともに誘われ次第に「あの日のこと」に近づいていき、登場人物達と同様に平和への祈り、尊さが静かに静かに心に染みってくる。「日本は戦争したんだっけ」直樹がりつ子に問う。

今の時代から「あの夏の日の痛みが消えようとしている。本当に一人でも多くの人にこの『ふたりのイーダ』を観て頂きたいと切に思う。

「…でもね、それはわかってあげなくちゃいけないんだよ。その人にとってそれはいつまでたってもほんの少し前なんだから…」



りつ子 小野瑞穂



繰り返すことの意味

今年もまた八月が近づいてくる。この時期に青空に輝く太陽を見上げると六十二年前の事を思っ胸がギョツとなります。そしてなかなか前に進めない日々を嘆く自分を叱咤したくなる、そんな気分です。何度も何度も同じようなことを繰り返して、次はうまくやれるんじゃないかと思っ頭張るけれどまた同じようなことになつて落ち込んで、たまに全てが嫌になつたりするけれどまた復活して頑張つてみたりする。そんな小さな前進かもしれないけれど、でも生きていく。それってなんて幸せな事なんだろうと実感するのがこの時期です。

『ふたりのイーダ』のりつ子は幸せだったんだと知ったとき嬉しくて涙が止まらなかった、生きていてるって本当に全部素晴らしいことなんだと舞台上で毎回思うのです。

この時期には絶対イーダを観なくちゃとおっしゃるお客様がいる。いつも考えているわけではないけれど絶対に忘れてはいけない大事なことをまた心に刻むために。

◆アンケート

- ◇叫んだり声高にならずにこんなに反戦が心に染みるとは。
- ◇最後はもう涙がとまりませんでした。
- ◇何度観てもなけます。来年も観にきます。
- ◇三回目なのに次は？次は？ってわくわくしました。

◇この芝居の冒頭、主人公の直樹が客席に向かつてこう語る。  
「むかし、むかしのことじゃない」  
一九四五年広島に原爆が投下された。この物語が出版されたのが一九六九年。今は二〇〇七年。  
しかしまさにこの物語は  
「むかし、むかしのことじゃない」

◆ミニ知識／核兵器(かくへいき)  
核兵器は、原子核の核分裂(ぶんれつ)反応や核融合(ゆうごう)反応によって放出される強力なエネルギーを利用した残虐(ざんぎやく)で非人道的な兵器です。広島に投下された原子爆弾(ばくだん)は、爆発の瞬間(しゅんかん)に生じた摂氏(せつし)百万度を超(こ)える超(ちよう)高温による熱線、数十万気圧による衝撃(しょうげき)波、爆風や有害な放射線により、一瞬にして大量破壊(はかい)・無差別殺戮(ざつり)くを引き起こしました。特に、放射線は被爆直後に死をもたらしただけでなく、六十一年を経た現在でも被爆者は癌(がん)などの放射線の後障害に苦しんでいます。

ストックホルム国際平和研究所の発表では平成十八年二〇〇六年一月現在、アメリカ、ロシア、イギリス、フランス、中国、インド、パキスタンの、か国が保有する作戦配備された核弾頭(だんと)の総数は約一万二千発と推定されています。さらに、平成十八年(二〇〇六年)十月、北朝鮮が初の核実験を行い、核拡散が現実のものとなりました。核兵器は人類を絶滅(ぜつめつ)させる「絶対悪」です。ヒロシマは核兵器の恐(おそ)ろしさを国内外に伝えるとともに、廃絶(はいぜつ)への訴(う)つたえを一層強めていかなければなりません。

広島平和宣言より  
(<http://www.pcf.city.hiroshima.jp/>)

劇団仲間を応援します！

有限会社 豊友印刷

〒144-0052 東京都大田区蒲田1-18-1  
Tel.03-3733-0707 Fax.03-3733-2344 Mail. info@hoyou.co.jp



フォルトウナータ  
池田 舞

## 小さな共演者たちへ

「ありがとうございましたー！」  
海辺を走ってくる島の少年の姿を、私はふと思いつく。まるで映画のワンシーンみたいに。ねえ、君は気がついてる？ 大きなプレゼントを貰ったのは、実は私の方だ。文化庁公演。毎回小さな共演者を迎え、共に舞台を創る日々を、私は楽しみにしている。思いもよらない方法で役を作り、楽しそうに舞台に立つ子ども達。衣裳や小道具に凝る子、役の内面を掘り下げる子、動きにこだわる子。子どもの数だけ答えがある。

ワークショップに一日、リハーサル&本番が一日。たった二日間で、子ども達の表情は驚くほど変わる。彼らを見ると思いつく。芝居は「ナマモノ」だったこと。役を演じながら心は柔らかく、その瞬間を「生きる」。基本のようで難しく、とても大切なこと。ほらね。「ありがとう」は私のセリフでしょ？！

文化庁公演で、もうひとつ大切なこと。それは、まわりの大人の協力だ。数え切れないほど多くの方が、この公演を支えてくれた。搬入・搬

出を手伝って下さる先生。立看板、地域の方への宣伝、保護者の方への対応。同時字幕付公演の時は、二時間字幕を出し続けてくれた方も。極寒の二月追加公演では、ありつたのストープを体育館に集めてくれた。【煙で火災報知機が作動！】なんて珍事件もあったけれど、皆さんの気が嬉しかった。

カモメのラストシーン。教会の塔の上まで皆の思いが伝わってくる。体育館中が、フォルトウナータの背中を押してくれる感覚。いつの間にか、皆がカモメを飛ばす「仲間」になっているのだ。

なんて幸せな瞬間！！

今年。文化庁公演は異例の三年目が決まった。この作品を飛ばしたか、仲間たちの熱意と、輝くような子ども達の笑顔だ。

いつか、彼らが巣立つ時、ふと思いついて欲しい。舞台上「飛んだ」日のことを。そして、この経験が、少しでも彼らの支えになってくれることを、心から願っている。

「おおい、みんな。この大空、全部君のものだよ！！」

フォルトウナータより、

感謝をこめて。



## 平成19年度

### 本物の舞台芸術体験事業（学校公演） 公演予定

10/ 2 (火)	伊勢市立二見小学校
10/ 3 (水)	津市立高岡小学校
10/ 4 (木)	田原本町立北小学校
10/ 5 (金)	天理市立二階堂小学校
10/ 9 (火)	大阪市立扇町小学校
10/10 (水)	大阪市立東粉浜小学校
10/11 (木)	奈良市立鼓坂小学校
10/12 (金)	奈良市立青和小学校
10/15 (月)	奈良市立伏見南小学校
10/16 (火)	富田林市立伏山台小学校



## ◆感想文

◇二〜四時間めの間、ずっとげきをぶたいを見ていました。一度も目をはなしたくないという感じで頭がいっぱいなほどでした。

◇本当は劇はすきではなかったんですが、「仲間」のおかげで劇がすきになりました。

◇もしかしたら本当に、こんなできごとがあったねこもいるかもしれないな、と思いました。

◇今日のげきは最後まで見た事のない、すごいげきでした。

◇「勇気」です！ゾルバを見ていても「勇気」をもらいました。

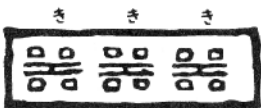
◇今回この劇のねずみ役を演じました。一生に一度の、すごい、体験でした。

◇サルの人面白かったです。いままで見た中で、たぶん、一番笑えたと思います。

さわやかで、あたたかな、そしてとても楽しい感想文を多くの方々からいただきました。

今回は千葉県市原市立五井小学校の皆さんの感想文から、ころあたたまる言葉を抜粋いたしました。本当にありがとうございました。

劇団仲間を応援します！



陶芸教室・器雑貨店

陶芸教室・器雑貨店「器器器」は、ご年配の方からお子様まで、幅広い年代の方が集まり、器を通して、皆さんが楽しみ、語らい、そして笑顔のたえない、心地よい憩いの場を提供していきたいと思っております。

代表：新堀恵理 〒152-0002 東京都目黒区目黒本町5-5-5  
TEL&FAX/03-5721-8330 MAIL/kikiki@3min.jp http://www.3min.jp/kikiki  
営業時間/11:00~20:30 定休日/月曜（火曜日は店舗営業のみ）

# モモと時間どろぼう／森は生きている



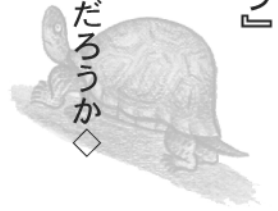
信濃町『黒姫話館』ホームページより抜粋  
 (エンディング資料を世界で唯一常設)

電話 026-1255-12250

http://www.avis.ne.jp/~  
 dowakan/kurohime.html

◇豊かさを求める先に

本当の豊かさがあるのだろうか◇



『モモと時間どろぼう』

【ミヒヤエル・エンデ  
 からのメッセージ】

『おまえは自分の知らないものにかんして存在を認めません。そしてファンタジーなど現実ではないと思うのです。でも未来の世界はファンタジーからしか育ちません。私たちはみずから創造するものなだけでこそ、自由な人間になるのです。』

外の世界を豊かにする物質が氾濫し、目に見える尺度としての自然科学思想が支配する現代、私は『サーカス物語』で語られるこの言葉を、あらためてはつきりもちだしたく思います。外側の進歩はそのつど内側の進歩と手をたずさえ、外なる価値にいつも内なる価値がふさわしく合致しているのでなければ、このさきの物質文明は人間をほろぼしていくでしょう。つまり外部空間を征服すればするほど、私たちは内部空間をもっと強力に豊かにしなければなりません。私は『はてしない物語』のファンタジーや『モモ』の「時間の国」で、そうした内なる世界のことをえがきました。

『森は生きている』

ある大きな国に、わがままな女王様がいました。ある年の大晦日、女王様が気まぐれにとんでもないお布令を出しました。

「新年までにマツユキ草を持ってきた者にはかごいっぱい金の貨をあげます」

欲ばりな叔母さんとその娘は金貨欲しさに、真冬の森へみなしこの少女をやりました。しかし今は冬。マツユキ草は四月に咲く花です。どこを探してもあるはずがありません。少女はここへ死にそうになりながら森をさまよいます。その時、遠くに金色の光が見えました。それは《十二月の月の精たち》の焚き火でした。十二月の精たちは大晦日の晩に集まって、年に一度のお祭りをするのです。みなしが優しい少女だということを知っている十二月の精たちは、困っているみなしのために一時間だけ《春》をよびました。

みなしがマツユキ草を摘んで家に帰ると、叔母さんとその娘はそのマツユキ草を持って、女王様の所へ行きました。すると、女王様は自分もマツユキ草を摘みに森へ行きたいと言いだしたので

す。

◆昨年度の『森は生きている』公演は、多数のお申込みをいただき、無事公演を終えることが出来ました。お申込みいただいたにも関わらず、お席をご用意出来なかつたお客様には大変ご迷惑をおかけいたしました。ここにお詫びとお礼を申し上げます。



編集部

◆サザンシアター公演日程

二〇〇七年十二月二十三日(日)〜二十七(木)

二〇〇八年一月四日(金)〜六日(日)

紀伊國屋サザンシアター

モモと時間どろぼう



森は生きている



劇団仲間を応援します!

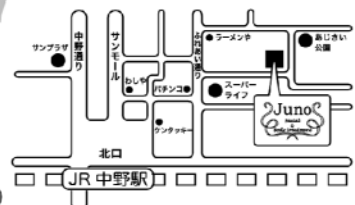
～植物の力でお肌と心を癒します～



フェイシャル&ボディトリートメントサロン

Juno ジュノー

予約制 TEL 03-3387-1009 中野区中野 5-35-16-101 営業時間 平日 10:00-20:00 土日祝 10:00-18:00(不定休)



# 劇団仲間54年の歩み

## 「新劇の問題」

詩人・演出部／菱山修三

われわれの願いといえば、なにはおいても新しい、おもしろい、いい芝居をすることだ。が、新しいおもしろい、いい芝居をうみ出すには、新しい、いい舞台をつくることを、まずアタマにおくことが大切だ。「近ごろは演出、演出というけれども、芝居はどこまでも俳優が中心ですよ。」と、成る批評家がわたしにいった。わたしもそれに異存はない。しかし、演出家にしろ、俳優にしろ、自分で新しい舞台をつくるという意欲がなかったら、たちまち、壁につきあたるのではないか。いいホンがないというのは怠けもののはなしだ。今日の青春は老いやすく、世間にむやみに若年寄がふえているように、若い俳優もたちまち若年寄になっていく。

「では、どういう芝居がしたいのですか。では、どういう役柄をこなしてみたいのですか。演技の内面化という課題に、どうこたえますか。」こういう率直な疑問に即答できる俳優は少ない。みんな、至って、つましやかなものだ。土台こんな問をかけるやつがあるものと、腹をたてたところ、素朴な問はどこまでも残る。素朴な問に胸をはって答えられないはずはなからう。

「僕らがもう試験ずみの演技を、すでに工夫をかさねて切りすて、いわば定式化したような演技を、若い俳優はふりむきもせず、みられないようなナマな演技を、平気でやっている」と、喜劇俳優が嘆いていた。が、その「定式化である」「新劇」があるのは「新劇」の「劇」が問題で、世評の高い俳優の、いわゆる定式化された演技に、若い俳優はスキマしか見ていない場合もないではない。いつ、いつたい、どうすれば、

いいものか。結局「写実」を自分の胸でねりなおし考えなおすことよりほかにしてはないではないか。周囲のものがみんな胸のうちにもっているが、まだはつきりと形を得ていないものに形をあたえることを工夫することが第一ではないか。新しいいい芝居は天から降って来ることはない。新しい劇団が作りだすのである。「新劇」があるのは「新劇」の「劇団」のあるおかげで、観客のアタマにはピンとこないことだが、特定の組織のなかの特定の人間によって払われた無償の努力の積みかさねが採算にあうようになって、あの芝居にお目にかかれることになるのである。劇団あつての芝居だ。「独白や傍白を、それとして援用するのではなく、対話を無視して独白や傍白に主たる方法的位置をあたえて、直接観客に訴える芝居を書きたいですネ。」と、或る作家がいった。読みの深い演出家と、自己の演技を充分に内面的に深化できる俳優が要りますネと、わたしは答えた。「チエホフ糞くらえ、ゴルキー糞くらえです。」と作家がいった。「立派なお心がけです。」と、わたしはいった。

わたしは真剣に、もう一度「写実」ということを考えなおさなければならぬと思った。新しい、おもしろい、いい芝居をうみだすためには四苦八苦して、われわれは新しい、いい舞台をつくる努力からはじめなければならぬのではないか。

一九六〇—四—二十五発行 劇団仲間紙より  
 菱山修三は処女詩集『懸崖』を二十二歳で世に出し、最後の詩集となる『幼年時代』を最後に享年五十六歳という若さでこの世を後にした。――

## 夏休み公演日程

◆ 見えない友達  
 8/2 (木) 14時 8/3 (金) 11時

◆ ふたりのイーダ  
 8/4 (土) 14時 8/5 (日) 14時

東京芸術劇場 小ホール② 一般 4,000円・ペア券 7,500円 (2枚1組)

◆ 飛ぶ教室  
 8/7 (火) 14時 8/8 (水) 14時

東京都児童会館 前売り 3,000円・当日 3,300円

## 編集後記

四月の『飛ぶ教室』の公演を終えたと思ったら、もう夏休み公演の時期なんですね。時間が過ぎていくのが早い。早すぎる。慌ただしく過ごす日々でも、充実した時を送りたいものです。

『飛ぶ教室』は四月に公演を終えたばかりですが、見逃してしまつたという方はもちろん、四月にご覧いただいたという方も、夏休み公演に向けて進化していくものと思われまふので、ぜひぜひ観にいらして下さい。

今年も四人の新人を迎え、新しい年度が始まりました。今後とも劇団仲間をよろしく願っています！

編集責任者 三橋怜子

## 募集！ミュージカルと一緒に創りませんか？

07年は歌・ダンス・芝居の基礎レッスンとみんなで台本や歌づくり  
 08年に本格的に稽古開始。2009年春、公演！<なかのZERO大ホール>

♪音楽：谷川賢作 ♪プロデュース：佐々木香

★お問い合わせ★ T&F 03-5385-9068 info@c-c-net.org

特定非営利活動法人 ZERO キッズ http://www.c-c-net.org.



「そらのふ・し・ぎ」2005より

